

令和5年度 学校経営方針

令和5年4月3日 京都市立養正小学校

小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



学校教育目標

子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- | | |
|---------------------------|---------|
| ○自ら考え表現し、学ぶことを楽しむ子の育成 | 【学 力】 |
| ○自他の良さを認め、共に高め合う学習集団の育成 | 【人 権】 |
| ○人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成 | 【豊かな心】 |
| ○望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 | 【健やかな体】 |



めざす子ども像

- | | |
|------------------------|---------|
| すすんで考え、学ぶことを楽しむ子 | 【学 力】 |
| 自分や仲間の良さを認められる子 | 【人 権】 |
| 思いやりがあり、ルールとマナーを大切にする子 | 【豊かな心】 |
| 運動に親しみ、健康な生活をする子 | 【健やかな体】 |

1 めざす子ども像の具体化

「すすんで考え、学ぶことを楽しむ子」…学習意欲・関心

- * 授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって楽しんで学習する子ども
- * 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- * 様々な情報(教材・資料・発言等)を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

「自分や仲間の良さを認められる子」…相手意識

- * 自分の良さに気づき、その良さを素直に認め、さらに伸ばそうとする子ども
- * 仲間の良さや頑張りを素直に認め、相手のことを考えた言動ができる子ども
- * 様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けている子ども

「思いやりがあり、ルールとマナーを大切にする子」…思いやり・ルール・マナー・エチケット

- * 学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- * 仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- * 思いやりをもって人との関わりを楽しみ、マナーを大切にできる子ども

「運動に親しみ、健康な生活をする子」…自尊感情

- * 命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- * 食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的な生活習慣を身に付けている子ども
- * 運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくろうとする子ども

2 本校児童の特徴的な課題

- 学** 学習に対する関心・意欲や学習成果の学年進行に伴う顕著な二極化。基礎的・基本的な知識・技能の習得、家庭での学習習慣(自学自習)の定着。
- 学** 教材文や資料を読み取ったり、他者の発言を聴き取ったりする力。粘り強く考え、自分の思いや考えを筋道立てて、分かりやすく伝える(書く・話す)力。
- 人** 相手や場に応じた丁寧な言葉遣い(常時)。相手の状況や気持ちを考えて言葉をかけたり、行動したりする力。特に学校外や友だち同士での会話。
- 心** 学級・学校・社会のきまりを守ったり、自分の役割を最後まで果たしたりしようとする態度。物事の良し悪しを判断したり、その言動をしたらどうなるか想像したりして自らの行動を律する力。
- 心** 友だちの思いを想像したり、相手がどう思うかを考えたりする力。思いやり・マナー・エチケット。
- 体** 睡眠・食事・歯磨きなど、基本的な生活習慣・生活リズムの定着。自尊感情。

3 目指す教職員像 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。【徹底】
- ②個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量(指導力)や人権感覚の向上をめざす。【研鑽】
- ③全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、教育課程や内容の見直し(カリキュラム・マネジメント)、業務の削減と効率化を進める。【参画】
- ④学力向上・規範意識の高揚・生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。【結果】

4 今年度の取組の重点

(0)「組織力」「環境(学習環境・職場環境)」・・・**チーム養正**

- *コミュニケーション、風通し、明るく温かい雰囲気のある職場づくり(ソフト面)
- *美しい職場環境づくり(ハード面)⇒職員室・会議室・資料室 等
- *落ち着いたある学習環境の整備

キーワード
『発信』

⇒ソフト面:スーパーあいさつ・丁寧な言葉づかい・さん付け・温かい関わり・笑顔 等
ハード面:教室(総合・特別教室)・廊下・校庭・靴箱 等

(1)「学習規律」「基礎・基本」「関心・意欲」「思考力・表現力」「自学自習」「各種調査分析」

・・・**「楽しい・わかった」が聞こえる**

- *『学びの約束・ルール』(小中一貫教育構想より)の実践・徹底＝年度当初より
- *生徒指導の三機能を意識した授業⇒チェックリストの活用、授業研修
- *朝読書、ベーシック・ステップアップ、言葉ランドの確実な実践
- *「楽しい授業」「わかる授業」「考え、表現する授業」の積み重ね
⇒基本的な学習過程【導入－問題－めあて－人学び－話し合い(グループ・全体)－まとめ－振り返り】
★導入の工夫、動機付け(しかけ)、思考を促す発問、話し合いの視点、GIGA 端末の活用
⇒的確な支援【ICT の活用視覚教材・見やすい板書・指示 等】
- *授業研究、中堅若手自主研修等での積極的な授業公開⇒国語・算数を中心に
- *GIGA 端末の日常的・主体的な活用、「誰一人取り残さない」視点
- *学校図書館・視聴覚室の積極的な活用
⇒読書環境の充実:読書ノート・バッグの活用、学校司書との連携、読書週間
⇒「学習・情報センター」として授業での活用・・・ICT だけに頼らない授業

＊家庭学習(自学自習)の習慣化 ⇒宿題:提出の徹底と個別化、自学:内容の紹介

★漢字・計算、音読・読解、問題集、デジタルドリルの活用、ノートの掲示

(2)「人権感覚」「自尊感情(自己肯定感・自己有用感)」「規範意識」・・・マナー・エチケット

＊人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり

⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感

⇒生徒指導の三機能を意識した学級経営

⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援

⇒「養正マナーの達人 10 か条」の推進＝マイスターの継承 地域への発信

＊人権に関わる学習活動や取組の着実な実践

⇒「にこにこ集会」「学級での人権学習」「ようせいタイム」等の充実

⇒児童会との連携:月目標、振り返り、教職員の意識

⇒新たな人権課題への対応:「LGBTQ」「情報モラル」「虐待」「ヤングケアラー」等

⇒不易の取組:同和問題にかかわる単元の指導、ハートフルタイム、インプロ、交流学习、コアみんぞく教室

＊「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践

⇒生指ミーティング、ケース会議、保健室・SC・SSW及び家庭との連携

⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」「こころとからだのアンケート」の活用

⇒『養正校のやくそく』についての継続的でぶれない指導

(3)「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」・・・自分ができる

＊感染症対策の徹底

⇒規則正しい生活習慣、手洗い、場面に応じた適切なマスクの着脱

＊健康教育推進計画に基づく実践の継続

⇒基本的な生活習慣の定着に向けて:食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム

・「生活しらべ」の結果に基づく指導(子ども・保護者)

・歯、口の健康改善＝給食後の歯みがき、歯の健康に関する指導

・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携

・体育学習の授業改善、「ロング昼休み」の活用等

＊自分の命・健康を守り切る力の育成

⇒学級活動:安全ノートの活用、避難訓練:様々な想定・三校合同研修

＊「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応

＊防災マニュアルの改善と共通理解、校内の危険箇所の点検と整備

(4)「コンプライアンス」「働き方改革」「SDGs」「その他」・・・気持ちよく

＊法令遵守の徹底、教育公務員としての倫理観の向上

＊時間・物の有効活用＝放課後の時間の捻出、仕事コントロール、ワークライフバランス

⇒会議等の時間、電話対応・施錠時刻、仕事のめりはり、授業時数の確保

⇒働き方改革は時間だけの問題ではない! 整頓された職場環境・働きやすさ・働く意欲

⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見直しをもった購入、光熱水費等の節約

＊地域、関係諸機関との積極的な連携

⇒高野中学校区三校、校区保育所、児童館、東山総合支援学校、児童相談所 等

＊新学習指導要領の実践

⇒「道徳」「外国語科(外国語活動・英語活動)」「学習評価」「カリキュラム・マネジメント」等

＊GIGA スクール構想・プログラミング教育等の積極的な実践

⇒効果的な活用方法でレベルをさらに上げる